

広報 ひがししらかわ



昭和46年度 越原保育園卒園記念



50年度 越原保育園卒園記念



昭和60年度 越原保育園卒園記念



平成20年度 越原保育園卒園記念



3

2005 No. 525

ありがとう越原保育園

少子化とともに減少する子どもの数。村内の保育園に通う園児数も年々少なくなり、園児にとって“集団の中で育つこと”が難しくなりつつあります。保育がより適正な環境で実施されるよう、この4月に村内2つの保育園が統合して“みつば保育園”1つになり、越原保育園は、3月末で閉園することになりました。

地域の保育園として長い間親しまれ、愛されてきた越原保育園の出来事や思い出を覗いてみましょう。（関連記事2、3頁に掲載）



● ありがとう越原保育園

長い間、地域の保育園として愛されてきた越原保育園を振り返ります



越原小鳩会としてスタート

越原保育園は、昭和三十年四月、婦人会の有志による越原小鳩会として発足。当初は越原青年館（現越原地域集会所）で開設していましたが、三十六年六月、へき地保育所の設立認可を受けたことにより、当時の越原小学校の一室を借り受けて移転。さらに三十八年四月、東白川中学校の分校統合により廃校となった分校校舎に移転しました。

昭和四十五年八月、現在地（越原九六七番地の一）に、総工費一五七万円をもって建設工事に着手、翌四十六年三月、木造平屋建（四一九㎡）の園舎が完成し、認可保育所の設置許可を受けて四月から開園。規模は、三つの保育室や遊戯室のほか、職員室・給食室等からなり、収容定員六〇人、保育士三人、給食婦一人でスタートしました。



人と自然に恵まれた保育園

同園に関わってきた保育士に「越

原保育園は、どんなところですか？」と尋ねると、決まって「自然があふれていて、子どもがのびのびと育つところ」との答えが返ってきます。園庭を囲むように生える木々や、花・野菜の植えられた小さな畑、園の北側から聞こえる清流白川のせせらぎ、四季の香りを運ぶ風など素朴な空気が他所にはない「いいところ」なのだとか。

園児たちは、それを自らの五感で感じとり、四季折々の遊びとして楽しんでいきます。春には土の中や石の下に隠れる虫を採り、夏にはプールで泳いだり川で雑魚すくいに夢中になったりしました。秋には園庭のドングリを拾い集め、冬には園内外の傾斜でソリ滑りを楽しみます。なかでも園庭の隅にありながらも大きな存在感を放つ築山は、開園時から多くの園児たちに人気の場所。自力で登ったり、遊具に乗



雪化粧をした園舎。身近なところで白銀の世界が広がります



積もった雪を集めて作ったかまくらで一休み



木登り、手遊び。いつでも元気いっぱいな園児たち



差し込む日差しと板張りの床。どこか落ち着く木造の園舎

って駆け下りたりするだけでなく、積雪時には保育士を交えたソリ滑りの場として活用されます。埋め込まれた土管のトンネルも、秘密の隠れ家として多くの園児たちに愛されてきました。また、園門を出ると、無数の散

歩コースが広がります。過去には、散歩途中で雨に降られて全身ずぶ濡れで園に戻ってきたことや、畑にあった「肥溜め」にはまった園児もいたとか。他にも、茶畑の畔を縫うように通り抜けたり、実った栗を見つけては拾って持ち帰っ

たりと、地域の方々に失礼な行為もあつたようですが、どの方も「子どもんたのすることやでのう」と快諾されるのだとか。ここ越原保育園は、自然環境だけでなく保護者や地域の方々の温かい気持ちで支えられている保育

園といえるのではないのでしょうか。しかし、越原地区の園児数は、平成十六年度で二十一人、十七年度には十九人となり、将来的にも

厳しい現状と保育園の統合

減少傾向にあります。また、国の改革による普通交付税の削減や認可保育所措置費負担金の廃止による影響などから、村が生き残るための行政改革の一つとして『保育園の統合』が具体化されました。少子化に加え、市町村合併の破綻や苦しい村の財政状況といった条件が重なり、統合は避けられない現実となりました。

収容定員などの条件を満たしていることから現在のみつば保育園を利用。 神土・越原・五加の三地区の園児たちを育む新生・みつば保育園が新たな統合保育を目指してスタートします。

新生・みつば保育園

平成十二年に、神土保育園と五加保育園が一つになってスタートしたみつば保育園が今春、さらに越原保育園と統合して一つになります。園舎は、建物の強度や

できごと事情

▶児童による学習発表の様子



東小児童ら学習成果を発表

東白川小学校で二月五日、父母や地域の方々を招いて「かがやき発表会・学校公開」が開催されました。一、二年生の参観授業のほか、三年生以上の児童らが「総合的な学習」の成果を発表しました。

総合的な学習では、村の特産物や清流白川、米、歴史など学年ごとに設けたテーマにそってグループや個人で学習を進めてきており、児童らは、それぞれの活動内容や学んだことをB紙に書出したり模型を作ったりして紹介。自分で収穫した米で作ったおにぎりや、昔の狩猟を再現して猪肉料理を提供する児童もいました。発表を見て回る父母ら呼びとめ、懸命に発表する児童らの姿からは、この授業で身につけた『課題を解決していく様々な力』が発揮されているようでした。

白寿大学生、村政を学ぶ



◀村長の説明を聞く学生たち

いて安江村長から説明を受けたりしました。なかでも本村の現状と将来像についての説明は、出席者にとって感心が高いようで、「村がどうなるのか心配していたけど、今日の説明で少し安心できた気がする」「時代に合った努力が必要。村民とともに行政にも頑張ってもらいたい」との意見も。自立した村づくりに向けた動きがスタートしています。

村のお年寄りの勉強の場として設けられている『白寿大学』が二月九日、役場別館で開催されました。会に出席した村在住のお年寄り三十一人は、地震のしくみや種類、実際に地震が起きた時の対処方法など防災について考えたり、白紙に戻った市町村合併と村の今後について出席した

健闘！少年剣士らの成長光る



◀3位入賞を果たした東白川チーム

戦が行われ、本村からは『東白川少年剣道クラブ』のクラブ員十一人が出場し、熱い試合を繰り広げました。なかでも、団体戦・高学年の部に出場したチーム（桂川亮くん・桂川駿典くん・小池崇郎くん・安江裕哉くん・高井和貴くん）は健闘し、優勝候補とされていた黒川Aチームを破って予選を一位通過。決勝トーナメントでは蘇原チームに破れたものの、選手や関係者らは三位入賞を喜んでいました。また、個人戦・小学三年の部では、安江孝太くんが三位入賞を果たしています。

剣道を志す小学生を対象とした『第三十一回少年剣道黒川大会』が二月十三日、白川町で開催されました。低学年と高学年の二部門で計十九チームが競う団体戦と、学年・男女別の個人

つちのこ村の

体験談から心の教育。講演会開催



◀豊本さんによる講話の様子

つ、共に生きていく気持ち育てることがねらい。今回の講師は、聴覚に障害を持つ豊本めぐみさん（白川町在住）で、全校児童を前に、幼年期に苦労したことや日常生活の様子など、体験談を話されました。

講話後、児童からは「テレビの音はどうやって聞くのですか」「いつも持ち歩いているものはありますか」といった質問も。豊本さんは「テレビは字幕を表示する機械を使っているの、困ることはないですよ」「携帯電話は必需品。メールが重宝します」と質問に答え、互いに交流を深めているようでした。

福祉に係る授業として毎年行われている「お話を聞く会」が二月二十五日、東白川小学校で開催されました。

本会は、体に障害を持つ方を講師に招いて体験談を聞き、意見を交換しながら交流を深めつつ、共に生きていく気持ちを育てることがねらい。今回の講師は、聴覚に障害を持つ豊本めぐみさん（白川町在住）で、全校児童を前に、幼年期に苦労したことや日常生活の様子など、体験談を話されました。

実践報告。子の健康を！



◀意見交換する関係者たち

学校の順に発表。教育関係者のほか村長や村議会議員など計二十九人が出席するなか、歯みがきに係る親子指導の実施や、長期休暇における生活習慣の調査、園庭で育てた野菜を収穫して食べることで子どもが「食べること」に興味を持つようになるという事例などが報告されました。

子どもたちの健康を願う取り組みが村全体で行われています。

村の子どもたちが健やかに育つよう温かく見守り、健康促進を図ろうと、保育園、小学校など保健関係者で構成される「学校保健会」の実践報告会が二月十四日、東白川中学校で開催されました。

『規則正しい生活習慣のあり方』との共通テーマで、それぞれの一年間の取り組みを乳幼児学級、子育て支援、保育園、小学校

完全燃焼！コンサート開催



◀観客前に演奏する若者たち

フィールズグリーンの内企画として実施したイーストウッド5から半年後の開催となります。コンサートには、OIIやDフアクトリーといった村在住の若者によるグループのほか、近隣町村からも出演があり、計八組が熱いステージを繰り広げました。また、客席には若者や親子らがつめかけ、音楽に合わせて体をゆすったり飛び跳ねたりして、コンサートを楽しんでいました。

村の若者で組織するグループ・ラグードリーム倶楽部が主催するアマチュアバンドコンサート・イーストウッド6が二月二十六日、はなのき会館で開催されました。

アマチュアバンドの祭典として開催されるようになって今年で五年目。昨年の夏イベント・

「新着メール
があります」



『34年間ありがとう』

越原保育園長 安江フミ子

昭和45年8月設立認可が降りて以来「子供たちの園は、子供たちが喜び楽しめる園にしよう」を信念に始めたと初代園長先生は、当時を偲び熱い思いを語られました。退職されてからも庭木の手入れをしてはきれいな花を楽しませて下さいました。木々が根を張り、花の周りに蝶もきて、葉が舞い落ちて土が生き虫たちが生える。毎年、この自然が作り出す空気に包まれて虫集め、木のぼり、泥んこ遊び、トンネルは子供たちの隠れ家だったり、年長さんが野菜を作っては、お泊り会にバーベキューを楽しんだり、秋には、落ち葉をはき寄せて、やきいも作りをすれば、可愛い顔に炭がついているのを見て、お笑いしながら食べたことを思い出します。築山が四季折々に姿を変えて格好の遊び場となり500人以上の子供たちの歓声を呼んだこの保育園は、まさに「子供たちの園」だったことでしょう。

今、閉園を迎えるにあたって、一抹の寂しさと残念な思いは隠しきれませんが子供たちの少子化と時の流れには逆らえないものがあります。

保育所としてこんなにも惜しまれ、恵まれた環境から子供たちの声が聞こえなくなるという寂しさもありますが、春から村の子供たちが、一緒に過ごす姿など思えば喜ばしさも覚えます。また、違った活力も生まれることでしょう。今、越原保育園の姿は消えよう

としていますが、卒園児たちの心の中には、ここで育まれた力が生き続けてくれることを信じて止みません。今まで以上に保護者の方、地域の皆様の見守りで村の子供たちを育んでいただきますようお願いいたします。越原保育園、長い間ごくろうさまでした。越原保育園へ惜しみない慈しみをありがとうございました。



清水 千代ちゃん
(信道さん・未央さん=柏本)



戸田れんかちゃん
(圭伸さん・みほさん=曲坂)



松岡 祐奈ちゃん
(幸祐さん・真世さん=陰地)



安江 桃菜ちゃん
(利修さん・恵さん=加舎尾)



安江 華ちゃん
(宜正さん・雅子さん=栲山)

このコーナーの子どもたちはみな同い年。10年後、20年後「広報」を見ればホラ！1歳のあの子の顔が…

いかっせや …みんなの広場…

たわやがさい



安江泰亮さん
(神土平・20歳)
白川町・西野建設(株) 勤務

※「この村は…地元の友だちとかいて気楽。静かでイイところだと思います」と話してくれる若者を紹介します。

- 趣味
スノーボード。ゲーム
- 休日の過ごし方
家でまったり(ケガでスノーボードは休止中)
- 好きなもの
自分の車
- 仕事について
力仕事は楽しいです！
- 好きな異性のタイプ
おとなしい子
- 結婚について
予定なし。25歳までには…

戸籍の窓 (2月1日～2月28日)

●誕生おめでとございます

田口 文音 {正昭 江里子 (平)}
 大坪 凌久 {正明 栄実 (曲坂)}

●お悔やみ申し上げます

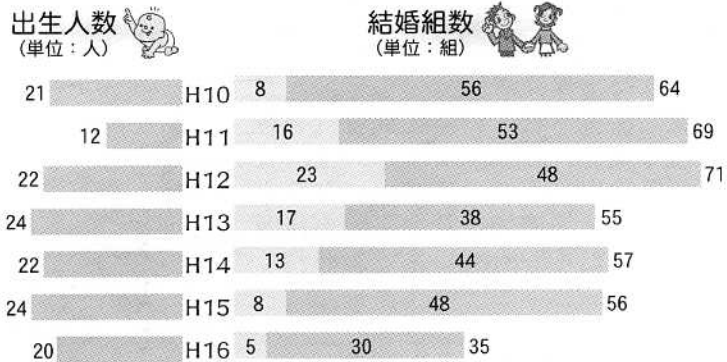
安江 定二 86歳(大明神)
 桂川 すぎの 96歳(黒淵)
 藤井 辰司 90歳(平)
 田口 賢一 83歳(大明神)



今月の「ツーショット」では、村の出生と結婚に係るデータを紹介します。次のグラフは、過去7年間の出生人数・結婚組数を表にしたものです。

出生は村の方が出産した子どもの数、結婚は婚姻の届出件数になります。婚姻届は、ご主人または奥さんとなる人の本籍地か住所地への届け出が必要で、このグラフは、役場の窓口へ届け出のあったもの（薄灰色）と、村外から本籍地である村の役場へ送られてきたもの（濃灰色）とを表しています。

グラフからは、出生人数に大きな変化がない代わりに新婚カップルの数の減少と、結婚して村に住む人（≒役場窓口へ婚姻届を出した人）が減少していることがわかります。進む過疎化に歯止めをかけ、より多くの新婚カップルが誕生することを期待します。



職場アレコレ



村雲建設

昨年末にFSC森林認証のCOC認証を取得された中通の村雲建設を紹介します。

創業から30余年となる本事業所は、一般住宅建築や改築、集合住宅の造作工事などを手がける建築業者で、近隣地域を中心に事業を展開中とか。

「FSC森林認証には以前から興味がありましたし、お施主さんの“FSC材で家を建てたい”という希望もあって、COC認証の取得に取り組みました。FSCが世間に認知されるには時間が必要ですが、長い目で見ていくつもりです。事業所としてもお施主さんの要望に臨機応変に対応しながら地道にやってきたい」と2代目事業主の村雲章さんは話されます。

時代に対応した環境ブランドを味方につけた村雲建設さんでした。

ちよつと、よつて

ホットアングル

また、式典後には、今後も歌い継がれるようにと加子母小学校の児童が作詞した「加子母の歌」計四曲が、同校の児童らによって熱唱されました。今後、中津川市加子母として、本村との交流が期待されます。

本村に隣接する『加子母村』が二月六日、同月十三日の中津川市との合併を前に閉村式を開催しました。粥川真策村長は「私たち村民は、新たな加子母地域の発展を目指して今一層の努力をしなければなりません。共に手を取り合って地域住民一丸となって頑張りましょう」とあいさつ。



『ズッコケ三人組の卒業式』 那須正幹 著

「ズッコケ三人組」シリーズの最終巻です。20年以上にわたって活躍した3人組もいよいよ卒業式をむかえます。

さて、卒業前の事件とは…校庭からわけがわからないCDが出てきたり、ハチベエが大変な事に巻き込まれたりといろいろな事件が巻き起こります。物事にははじめがあり、おしまひがある。永遠に続くと思っている子ども時代も、やがては卒業を迎えます。



国民年金から受給についてのお知らせ Q & A

Q 国民年金を受給するにはどこへ行けばいいの？

A 加入した制度が国民年金のみの場合（1号被保険者のみの方）は、**役場住民課**へお越しください。厚生年金や共済組合など他の制度に加入していたことのある方（2号被保険者）や、2号被保険者に扶養されていた配偶者（3号被保険者）の期間がある方は、**社会保険事務所**での手続きになりますので、**美濃加茂社会保険事務所**（Tel.0574-25-8181）までお尋ねください。

Q いつ手続きをしたらいいの？

A 受給資格のできる65歳の誕生日以降の住民票や戸籍謄本が必要になりますので、**誕生日以降、役場**へお越しください。なお、60歳から65歳までの繰り上げ受給もできます（年齢により減額率が定められています）。

Q 手続きには何が必要なの？

A ご本人の年金手帳・配偶者の年金手帳（受給者の場合は年金証書）、ご本人名義の預貯金通帳と印鑑、住民票、戸籍謄本、手数料が必要になります。

Q 今、厚生年金を受給しているけど、65歳になったらまた手続きするの？

A 厚生年金受給者の方が65歳になるとき、裁定請求書というハガキが届きます。そこに市町村長証明欄がありますので、役場窓口で証明を受けて投函していただきます。共済組合などの受給者で、国民年金加入期間のある方は、役場住民課で別途手続きが必要です。

詳しくは、美濃加茂社会保険事務所（Tel.0574-25-8181）または役場住民課住民係（有2162）までお問い合わせください。



東白川CATV からのお知らせ



応募ありがとうございました

12月から行っていました東白川CATVのロゴ募集には、21点の応募があり、審査の結果、白川の流れとお茶の葉を組み合わせた陰地・田口沙帆さん（14歳）

の作品が採用となりました。

村民センター3階のスタジオ入り口には、東白川CATVの顔として、サイン看板を設置しました。付近へお越しの際はお立ち寄りください。

CATV事業に係る質問

●テレビは変えなくてもいい？

▲そうなんです。CATVが完成して新しい接続に変わっても、今ご覧いただいているテレビはそのまま2011年まで見ていただけます。

●宅内見積額は決定？

▲決定額ではありません。工事を行ってから精算して請求させていただきます。あくまでも見積り額です。

4月・5月の“ごみ収集日”について

- 4/1 ガラス・可燃粗大ごみ
- 5/16 金物・不燃粗大ごみ
- 5/22 ペット・トレイ・プラスチック

各物品に関する集積場所や分類方法につきましては、今月配布しました平成17年度ごみ収集カレンダー保存版をご覧ください。

ごみの回収・分類については役場環境課（有線2145）までお問い合わせ下さい。

ありがとうございました

御寄付（2/28現在）

（敬称略）

【東白川病院】

金5万円＝藤井昭司（平）

【社会福祉事業指定】

金10万円＝安江さよ（大明神）

金20万円＝桂川眞郷（黒淵）

【社会福祉協議会】

清拭布＝額額甲子郎（上親田）

古切手＝古田タクエ（平）

古切手＝稲垣昇（陰地）

古切手＝田口りゑ（中谷）

古切手＝安江奏乃

古切手＝匿名

金10万円＝今井照夫（大沢）

金10万円＝桂川眞郷（黒淵）

金5万円＝藤井昭司（平）

金5千円＝匿名

【訂正】先月号11頁「御寄付／金4万円＝安江信紹→金5万円＝安江信紹」の誤りでした。訂正してお詫びします。

ほっとアングル



2月20日、本村に隣接する白川町で町民剣道大会が開催され、中学生以上の剣道愛好家たちが部門別、個人・団体別に白熱した試合を繰り広げました。

町民大会ということでしたが、ご近所のおよしみで本村からは東白川中学校の生徒の出場が認められ、有志4人が団体戦と個人戦に出場。中学生の部として、団体戦では準優勝に輝き、個人戦では熊崎貴仁くんが3位入賞を果たしています。

検査項目	検査結果		水質基準
	①大明神水系	②曲坂水系	
気温(°C)	2	2	
水温(°C)	7	6	
一般細菌(CFU/ml)	0	0	100以下
大腸菌	不検出	不検出	不検出
塩化物イオン(mg/l)	1.2	1.2	200以下
有機物(mg/l)	0.5未満	0.5未満	5以下
pH値	7.0	7.1	5.8-8.6
味	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし	異常なし
色度(度)	1未満	1未満	5以下
濁度(度)	0.1未満	0.1未満	2以下
残留塩素(mg/l)	0.3	0.4	0.1以上

採取日：平成十七年二月八日
採取場所：①神土平／②五加大沢
検査機関：株総合保健センター

2月 水道水水質検査結果

岐阜県

青年海外派遣事業

に参加しませんか

■岐阜県では、岐阜県の青年を海外に派遣し、訪問国の青年との交流や研修を通して、国際的な視野を広め、国際感覚・国際協力の精神を養うとともに、日本や郷土を正しく理解・認識し、次代を担うにふさわしい青年を育成するために、青年海外派遣事業を実施します。

■平成17年度は、フランス派遣（9月上旬・9日間）、アメリカ派遣（8月上旬・9日間）、ブラジル派遣（8月中旬・11日間）の参加青年を募集します。対象年齢は高校生を除く18歳から35歳まで。募集期間は平成17年4月1日から5月6日までとなります。

■詳細は、岐阜県庁青少年室青少年育成グループ（TEL058-272-1111 内線2422）までお問合せください。

自衛官募集

【応募種目／応募資格】

▼一般・技術幹部候補生（音楽・パイロット要員含）／20歳以上26歳未満（22歳未満は大卒者）

▼歯科・薬剤幹部候補生／歯科：専門の大学卒で20歳以上30歳未満、薬剤科：専門の大学卒で20歳以上26歳未満

【受付期間】

平成17年4月4日から5月13日まで

【問合先】

自衛隊美濃加茂分駐所 TEL0574-25-7495

花の作品展



安江貴人くん (陰地)

東白川中学校3年
「メッセージとして
の美術」



田口菜由さん (平)



田口泰生くん (平)



東白川小学校一年「僕・私が乗りたいもの」



田中愛乃さん (平)



越原保育園「もうすぐ1年生」ばら組

短歌



励ましてくれる友ありて老の侘びしさ少し薄れぬ
雲間よりのぞく初日に手を合わせ希いはひとつ先ずは健康
このやうに白くなりたるわが髪は床屋の床に散らばうを視る
暖房のききたる医院の待合いに杖に頼ませ順を待ちおり
群青の冬空ふたつに切り裂いて航跡雲の白き一線
風邪癒へず横たうベットに一杯の生姜湯うれし息子のこころ
水ほそり寒のきびしさ身にしみる老の身いたわり節分を待つ
着飾った孫娘の写真の頬あたりわが二十一才の面影を見る
五分でも早く願ひ冬の日の射し来る時を待つは切なく
夢託し植えたる桜今天に届けとばかり美林となれり
強き風橋を渡れば静まりて岸辺の原もさむざむと見ゆ
思ひ出の多き着物なりりサイクルせむと詫びつつハサミを入れる
若きは勤めにいでて留守居われ臘梅の香をひとりたのしむ
炭焼きて母と背負い来し炭山と遠く眺めて幼時を偲ぶ
友よりの絵手紙うれし新年のよき幕あけと幾度も見る
里に出し熊騒動に登校の児童ら鈴を鳴らしゆく朝
手造りの路味噌屈きぬほろにがき春一番が口に広がる
平隠に暮しつつ老い思ふこと戦ひに若く死にたる二兄
※皆様の作品をお寄せ下さい。ご投稿は毎月二十日まで
越原・安江嘉久一宛にお出し下さい。

安江嘉子
田口清美
安江嘉久一
樋口敬一郎
今井光彦
安江とくよ
古田緑
今井米子
林成
安江節子
刈田良香
田口かずみ
安江守平
林一巳
早瀬久子
小林道子
安江澄

発行／東白川村役場 0574 (78) 3111
岐阜県加茂郡東白川村 神土548
編集／総務課企画財政係
印刷／下呂印刷株式会社

人目の動き

— 2月末住民登録人口から —

世帯数	904世帯
人口	3,073人
転入	2人
転出	6人
出生	2人
死亡	4人

先月と比較して 6人減
昨年と比較して 21人減

◆卒業式のシーズンである。村内でも、保・小・中それぞれ式が行われる。中学校を卒業して、家庭や村を離れて飛び立つていく人もある。家族、特にお母さんにとっては身を引きちぎられるような悲しみだろう

◆卒業式は悲しい別れの式であると同時に、喜びに満ちた旅立ちの式典でもある。希望を抱いて巣立つて行く若者を見守ってあげたい◆卒業生は、疲れたらいつでも羽を休めにふるさとを訪れてほしい。ふるさとで疲れを癒したなら、更なる飛躍を目指そう (K)